

大阪市北区地域福祉計画 平成30年度取り組みの評価について

別紙1

※評価 A：できている B：おおむねできている C：あまりできていない D：できていない

取り組みの柱	重点	評価方法	達成目標	成果		課題	評価
				平成29年度(平成30年1月末現在)	平成29年度	29年度	
				平成30年度(平成31年1月末現在)	平成30年度	30年度	
1. 相談・支援(サービス)の充実	①「まちともサービス」による生活支援サービスの充実	数値	<ul style="list-style-type: none"> <li>●多くの地域でサポーター養成講座を開催し、サポーター会員の増加をめざす</li> <li>●長期間、長時間利用者等について、再アセスメントのしきみをつくる</li> </ul>	<p>【北区社会福祉協議会への委託事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆利用状況等の見直しにより利用回数が22%減少し、地域でのまちともガイダンス開催による新規サポーター会員が31名登録、新規利用会員は83名登録した</li> <li>◆再アセスメントしたことで、本人の主訴にあった支援につながり、長時間利用等の見直しとなった</li> <li>利用会員 258名、サポート会員 130名(内、29年度新規会員 31人)</li> <li>延べ利用回数 1,762回、延べ利用時間 3,873時間</li> <li>依頼内容 1位は掃除、2位は外出の付添</li> <li>サポーター養成講座 9回開催(延べ41名が参加し、内31名が登録)</li> <li>◆民生委員や主任児童委員と連携の強化が図れた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆コミュニティソーシャルワーカーや生活支援コーディネーターとの連携による、新たな利用会員の登録</li> <li>◆サポート会員の拡充・ガイダンス開催の周知</li> <li>◆PDCAサイクルのルール化</li> <li>◆サポート会員への研修等の充実</li> </ul>	B	
	②生活困窮者のための自立相談支援機能の充実	数値	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対象者の把握のための情報共有等、支援機関の交流会を開催するなどして、お互いの機能を理解することをめざす</li> <li>●支援ハンドブックの作成</li> </ul>	<p>【北区社会福祉協議会への委託事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆サポーター向けアンケート調査を実施し、課題の抽出をした</li> <li>◆長期間・長時間利用者等の再アセスメントのしきみをつくりに向けて、マニュアル作成とシステム化導入に着手した</li> <li>利用会員 211名、サポート会員 140名(内、30年度新規会員 22人)</li> <li>延べ利用回数 1642回、延べ利用時間 3409時間</li> <li>依頼内容 1位は家事援助、2位は外出の付添</li> <li>サポーター養成講座 7回開催(予定含む)</li> <li>うち、2回は地域へ向いて講座を開催した</li> <li>豊崎地域1回、菅南西天満地域1回予定(3月2日)</li> <li>延べ32名が参加し、内18名が登録</li> </ul> <p>【区】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区広報紙に定期的に「まちともサービス」の広報記事を掲載した</li> <li>・転入者向けバックに「まちともサービス」のチラシを入れ、事業の周知を図った</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆システム化の導入</li> <li>◆マニュアルの完成</li> <li>◆サポーター養成講座を地域へ向いて行うなど、効率的な開催の継続</li> </ul>	B	
	③コミュニティソーシャルワーカーによる地域福祉活動への支援の充実	数値・質	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コミュニティソーシャルワーカーの継続的な配置</li> <li>●専門性向上のための、スーパーバイザーの継続配置</li> <li>●コミュニティソーシャルワーカーからの発信による情報共有会議の開催ができるよう、区内の支援機関の連携をサポートする</li> </ul>	<p>【北区社会福祉協議会への委託事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆よりよいサポートきた相談窓口とコミュニティソーシャルワーカーとの連携により、アウトリーチによる支援につながった</li> <li>新規相談案件数 251件、支援調整回数 143件、CSWとの連携 15件</li> <li>・貸付などの相談をアンテナとして複合課題を抱えた世帯を早期把握しコミュニティソーシャルワーカーと連携して、役割分担をしながら、迅速かつ総合的なアプローチをしている</li> <li>◆出張相談会を実施した 8回</li> <li>◆各関係機関との有機的な関係を構築した</li> <li>・支援ネットワーク会議を開催(11月14日)</li> <li>・関係機関と支援者ハンドブック作成委員会を開催(1月18日)</li> <li>『生活困窮者』を地域で支えるための支援者向けハンドブック作成に向けて会議を引き続き開催予定</li> <li>・各関係機関に Outreach 連携を図った(NPO法人CHARM、大阪希望館等)</li> </ul> <p>【北区社会福祉協議会への委託事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆よりよいサポートきた相談窓口とコミュニティソーシャルワーカーとの連携により、アウトリーチによる支援につながった</li> <li>新規相談案件数 243件、支援調整回数 121件、CSWとの連携 7件</li> <li>・貸付などの相談をアンテナとして複合課題を抱えた世帯を早期把握しコミュニティソーシャルワーカーと連携して、役割分担をしながら、迅速かつ総合的なアプローチをしている</li> <li>◆出張相談会を実施した 8回</li> <li>◆各関係機関との有機的な関係を構築した</li> <li>・関係機関と支援者ハンドブック作成編集委員会を開催(5月16日、8月21日)</li> <li>・多様な団体とネットワークを作り、ハンドブック作成にかかるインタビュー会を開催(5月16日)28名参加</li> <li>『生活困窮者』を地域で支えるための支援者向けハンドブック作成した</li> </ul> <p>【北区社会福祉協議会と区の連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員事務局と連携し、地区民生委員協議会会議に出席した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆各地域における課題の分析によるニーズの把握</li> <li>◆「よりよいサポートきた」とコミュニティソーシャルワーカーが地域分析を統合し、一層のアウトリーチをめざす</li> <li>◆出張相談会の拡充</li> <li>◆ハンドブックの活用方法の検討</li> </ul>	A	
④コミュニティソーシャルワーカーによる地域福祉活動への支援の充実	数値・質	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コミュニティソーシャルワーカーの継続的な配置</li> <li>●専門性向上のための、スーパーバイザーの継続配置</li> <li>●コミュニティソーシャルワーカーからの発信による情報共有会議の開催ができるよう、区内の支援機関の連携をサポートする</li> </ul>	<p>【北区社会福祉協議会への委託事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆コミュニティソーシャルワーカーの配置により、アウトリーチによるニーズの発見と包括的支援の充実が図れた</li> <li>相談件数：2,367件</li> <li>・スーパーバイザーと区役所(子育て支援室)との連携</li> <li>・アセスメントの向上に向けて学習会を開催し、アセスメントシートを改編することで、記録や支援方法、実践の向上につなげた</li> <li>・高齢者支援において、福祉ニーズに理解のある不動産業者とのネットワークを構築した</li> <li>・主催の情報共有会議の開催 11回(前年度比+8回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆中学校区ごとの継続的な配置</li> <li>◆専門性のスキルアップ</li> <li>◆事例検討の更なる活用</li> <li>◆積極的なネットワーク形成</li> </ul>	B		
⑤コミュニティソーシャルワーカーによる地域福祉活動への支援の充実	数値・質	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コミュニティソーシャルワーカーからの発信による情報共有会議の開催ができるよう、区内の支援機関の連携をサポートする</li> </ul>	<p>【北区社会福祉協議会への委託事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆コミュニティソーシャルワーカーの配置により、アウトリーチによるニーズの発見と包括的支援の充実が図れた</li> <li>相談件数：2401件</li> <li>・スーパーバイザーと区役所(子育て支援室)との連携</li> <li>・福祉ニーズに理解のある不動産業者とのネットワークを広げた</li> <li>・まちともサポーターとの連携により、潜在していたニーズをアウトリーチできた</li> <li>・マンションコミュニティによる高齢者食事サービスに参加し、アウトリーチができた</li> <li>・関係者との情報共有会議を開催した(大淀西地域)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆中学校区ごとの継続的な配置</li> <li>◆コミュニティソーシャルワーカーの人材確保</li> <li>◆地域福祉コーディネーター不在地域へのコミュニティソーシャルワーカーのアプローチの強化</li> </ul>	B		

大阪市北区地域福祉計画 平成30年度取り組みの評価について

別紙1

※評価 A：できている B：おおむねできている C：あまりできていない D：できていない

取り組みの柱	重点	評価方法	達成目標	成果		課題		自己評価
				平成29年度(平成30年1月末現在)		平成29年度		
				平成30年度(平成31年1月末現在)		平成30年度		
1. 相談・支援(サービス)の充実	④スクールソーシャルワーカーによる学校、地域等への支援の充実	数値・質	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スクールソーシャルワーカーを2名にして、定期訪問校を拡充</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆スクールソーシャルワーカーの配置により、不登校やひきこもり等の課題解決に向けた支援体制づくりが図れた</li> <li>・スクールソーシャルワーカーを配置し、区内各小・中学校に拠点を置き、関係機関をはじめコミュニティソーシャルワーカーとも連携して、課題解決に向け調整を行った</li> <li>・支援延件数：832件(幼稚園1件、小学校342件、中学校403件、高校84件、特別支援学校2件)</li> <li>・校内、関係機関とのケース会議 74回</li> <li>・定期訪問校 中学校 5校中 4校 小学校 11校中 4校</li> <li>・各学校園からの要望も多く、定期訪問校を拡充するため予算上を行いH30年度から1名増員予定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆継続的な配置と体制の強化</li> <li>◆有効な情報共有の方法</li> </ul>	A		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>●スクールソーシャルワーカーとコミュニティソーシャルワーカーの連携に向けて、年度当初に研修開催するなどして、日常的な連携手法を検討する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆スクールソーシャルワーカーの配置の増員により定期訪問校が拡充でき、不登校やひきこもり等の課題解決に向けた支援体制づくりが図れた</li> <li>・各学校園からの要望も多く、定期訪問校を拡充するため予算上を行いH30年度から1名増員し、2名体制とした</li> <li>・区内各小・中学校に拠点を置き、関係機関をはじめコミュニティソーシャルワーカーとも連携して、課題解決に向け調整を行った</li> <li>・就学児童の状況を的確に判断できた <b>資料4</b></li> <li>・支援対象児童生徒数：426人(幼稚園11人、小学校229人、中学校167人、高校18人、特別支援学校1人)</li> <li>・校内、関係機関とのケース会議 126回</li> <li>・定期訪問校 中学校 5校中 5校 小学校 11校中 9校</li> <li>◆年度当初に子育て支援室についての研修を、コミュニティソーシャルワーカーへ行った</li> <li>◆スクールソーシャルワーカー、コミュニティソーシャルワーカーと子どもの居場所が連携して、子どもを含む世帯の支援を行った</li> <li>◆子育て支援方針会議にスクールソーシャルワーカーとコミュニティソーシャルワーカーが出席し、連携が図れた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆継続的な配置と体制の強化</li> <li>◆効果的・効率的な情報共有の方法の検討</li> </ul>	A		
⑤専門的な相談・サービスの円滑な提供	数値	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域福祉コーディネーターの研修を充実</li> <li>●地域福祉コーディネーターの地域支援連絡会議等への参画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【北区社会福祉協議会への委託事業】</li> <li>◆地域福祉コーディネーターの配置により、身近なところで相談できる体制づくりが構築されつつある</li> <li>・地域福祉コーディネーターを14地域に配置し、地域での相談、見守りを通してアウトリーチを行う</li> <li>・見守り・相談件数：7,310件</li> <li>・毎月1回計10回連絡会を開催し、情報共有や事例検討を行いスキルの上を回った</li> <li>・「精神保健に関するケース～対応のコツ～」等の研修を実施した</li> <li>・地域支援連絡会議に参画し、地域の課題を専門職と一緒に検討することにより顔の見える関係を築き、互いの役割を確認した</li> <li>・11地域でコミュニティソーシャルワーカーによる出張相談を開催</li> <li>相談件数：143件※地域福祉コーディネーター配置地域は、ともに相談を受けた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域福祉コーディネーターの継続的な配置</li> <li>◆地域福祉コーディネーター未配置地域のニーズの把握のしくみ</li> </ul>	B			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>●未配置地域のニーズ把握のため、コミュニティソーシャルワーカーの出張相談の充実</li> <li>●報告内容について、詳細を検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【北区社会福祉協議会への委託事業】</li> <li>◆地域福祉コーディネーターの配置により、身近なところで相談できる体制づくりが構築されつつある</li> <li>・地域福祉コーディネーターを15地域に配置し、地域での相談、見守りを通してアウトリーチを行う</li> <li>・見守り・相談件数：8415件</li> <li>・毎月1回計10回連絡会を開催し、情報共有や事例検討を行いスキルの上を回った</li> <li>・「精神保健福祉研修」を実施した</li> <li>・地域支援連絡会議に参画し、地域の課題を専門職と一緒に検討することにより顔の見える関係を築き、連携を強化した <b>資料5</b></li> <li>・11地域でコミュニティソーシャルワーカーによる出張相談を開催</li> <li>相談件数：69件※地域福祉コーディネーター配置地域は、ともに相談を受けた</li> <li>・北部地震、台風21号での対応について、情報共有を行った</li> <li>・報告様式の改良を行ったが、地域福祉コーディネーターより再改良の要望があり、報告様式を再検討中</li> <li>・未配置地域のニーズ把握のために出張相談は出来なかったが、小地域福祉活動に積極的に参加し、ニーズを把握した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆報告内容の詳細を更に検討</li> </ul>	B			
2. 小地域での福祉活動の推進・強化	①小地域福祉活動計画に基づく計画的・効果的な活動推進	数値・質	<ul style="list-style-type: none"> <li>●北区社会福祉協議会と連携を強化し、小地域福祉活動計画の実践の報告や、情報共有をすすめることで、計画策定に至らないまでも小地域の活動を推進する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【北区社会福祉協議会と区の連携】</li> <li>◆地域社協会長会の活用や地域で開催される会議等で説明等を行い、2地域で小地域福祉活動計画策定中</li> <li>・策定済 7地域(豊崎・北天満・中津・豊崎東・大淀東・大淀西・梅田東地域)</li> <li>・H29年度 1地域策定中(本庄地域)、1地域着手(済美地域)</li> <li>◆小地域福祉活動計画策定後の地域の地域活動を支援した</li> <li>・策定後の地域において、振り返りを実施した(豊崎・大淀西・梅田東地域)</li> <li>◆小地域福祉活動計画発表会で策定後の振り返りや、計画策定状況等の報告(3月2日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆策定可能な地域の主体性の向上を図る</li> <li>◆計画の振り返りや活動等の支援</li> </ul>	A		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>●小地域福祉活動計画策定地域において、振り返りのサポートを実施し、地域でのPDCAによる進捗管理の支援を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【北区社会福祉協議会と区の連携】</li> <li>◆地域社協会長会の活用や地域で開催される会議等で説明等を行い、2地域で小地域福祉活動計画を策定した</li> <li>・策定済 7地域(豊崎・北天満・中津・豊崎東・大淀東・大淀西・梅田東地域)</li> <li>・H30年度 2地域策定(済美・本庄地域)</li> <li>◆小地域福祉活動計画発表会で策定後の振り返りや、計画策定状況等の報告(3月1日予定)</li> <li>【北区社会福祉協議会】</li> <li>◆策定済の事業計画に基づいた事業を支援した <b>資料6</b></li> <li>◆子育てサロンの立ち上げを支援した(堀川地域)</li> <li>◆子育て世帯向け災害学習会を開催することにより、地域の子育てサロンへの参加につながることができた(堀川地域、大淀東地域)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆小地域福祉活動計画策定地域における振り返りサポート及び地域でのPDCAによる進捗管理の支援継続</li> <li>◆小地域福祉活動計画策定済、未策定に関わらず、各地域での活動を支援する</li> </ul>	A		

大阪市北区地域福祉計画 平成30年度取り組みの評価について

別紙1

※評価 A：できている B：おおむねできている C：あまりできていない D：できていない

取り組みの柱	重点	評価方法	達成目標	成果		課題	自己評価
				平成29年度 (平成30年1月末現在)	平成29年度		
				平成30年度 (平成31年1月末現在)	平成30年度		
2. 小地域での福祉活動の推進・強化	②地域での居場所づくりの充実	数値	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各地域の課題に合わせた居場所づくり等の推進</li> <li>●多様な保護者・子ども等の居場所などの設置支援</li> <li>●委託事業としての運営について、助言を行っていく。</li> </ul>	<p>【北区社会福祉協議会と区の連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆小地域福祉活動計画策定等を通して地域のニーズを把握し、地域での居場所づくりにつながった</li> <li>[継続] H28年4月より「なごみのうつわ運営協議会」を区の委託事業として継続的運営に寄与した、子どもの居場所「なごみのうつわ」当事者 14人(延べ参加者数 380人)、保護者 5人(延べ参加者数 24人) 地域ボランティア 25人(延べ参加者数 310人)</li> <li>[新規] H29年4月より「あすなるハウス運営協議会」を区の委託事業として継続的運営に寄与した、子どもの居場所「あすなるハウス」当事者 6人(延べ参加者数 101人)、保護者 6人(延べ参加者数 66人) 地域ボランティア 10人(延べ参加者数 127人)</li> <li>◆行政・社協・学校との連携                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・居場所を必要とする子どもを、子育て支援室、コミュニティーソーシャルワーカー、スクールソーシャルワーカーと学校が連携し、子どもの居場所につなげている</li> </ul> </li> </ul> <p>【北区社会福祉協議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆区社協内で障がい児やその家族の支援や居場所の設置に向け、取り組みを進めている</li> </ul>	<p>平成29年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆「子どもの居場所」設置の拡充</li> <li>◆その他、地域のニーズや課題に応じた居場所づくりの拡充と活動の充実</li> </ul>	B	
				<p>【北区社会福祉協議会と区の連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆小地域福祉活動計画策定等を通して地域のニーズを把握し、地域での居場所づくりにつながった</li> <li>・平成28年4月、平成29年4月、H30年4月より各1か所計3か所での委託事業として子どもの居場所づくりを展開した 当事者 35人(延べ参加者数 725人)、保護者 11人(延べ参加者数 117人) 地域ボランティア 17人(延べ参加者数 241人) 卒業生の継続利用による高校生の中退学予防、中学校の先生が面接場所として利用するなど、効果があった。</li> <li>◆行政・社協・学校との連携                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・居場所を必要とする子どもを、子育て支援室、コミュニティーソーシャルワーカー、スクールソーシャルワーカーと学校が連携し、子どもの居場所につなげている</li> </ul> </li> </ul> <p>【北区社会福祉協議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆会館のない地域での居場所事業を「鉄湯」(7月9日)と「マンションの会館室」(1月27日)で開催に向けた支援を行った</li> <li>◆「子どもの居場所事業」の交流会を開催(1月9日)</li> </ul>	<p>平成30年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆多様な保護者・子ども等の居場所などの設置支援継続</li> <li>◆居場所未設置地域の担い手の発掘</li> </ul>	B	
3. 災害時にも支え合えるつながりづくり	①地域での要援護者支援体制づくり ②日常的な見守りの強化	数値	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全地域への名簿提供の完了</li> <li>●同意された方を含めた地域の見守り体制の充実</li> <li>●地域での防災訓練等を通じた災害時の要援護者支援体制づくりの推進</li> <li>●個人情報の取り扱いについての北区役所、北区社会福祉協議会及び北区民生委員協議会共催の研修会の開催</li> </ul>	<p>【北区社会福祉協議会への委託事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆全地域へ同意書を送付し、地域の支援者と共に未同意者を訪問行い、地域団体名簿の提供など、要援護者支援体制づくりの取り組みを進めている</li> <li>・地域各種団体等に同意確認の進捗状況や名簿の提供時の取扱い、要援護者支援体制等の説明を104回実施</li> <li>・H29年度7地域、全19地域へ同意書の発送を行い、未同意者への訪問調査を継続中</li> <li>・名簿提供済み地域より随時追加の同意書を送付、更新名簿を9地域に提供済み</li> </ul>	<p>見守り活動のための同意確認の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆名簿の提供要援護者支援体制づくりの推進と名簿を活用した見守り活動支援の強化</li> </ul>	B	
				<p>【北区社会福祉協議会への委託事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆全地域へ同意書を送付し、地域の支援者と共に未同意者を訪問行い、地域団体名簿の提供など、要援護者支援体制づくりの取り組みを進めている</li> <li>・全地域への名簿提供を完了した</li> <li>・地域各種団体等に同意確認の進捗状況や名簿の提供時の取扱い、要援護者支援体制等の説明を116回実施</li> <li>・未同意者への訪問調査を継続中</li> <li>・名簿提供済み地域より随時追加の同意書を送付済み</li> <li>・名簿を活用した防災訓練の実施</li> </ul> <p>【北区社会福祉協議会と区の連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆個人情報保護に関する研修会の開催(2月25日)</li> <li>◆マンションコミュニティ支援事業を通じ、各マンションの特性に応じた防災講座や防災の基本ルールづくり、避難訓練などの支援の場で、区の福祉施策を案内し、高齢者・障がい者・子どもの日常的な見守りを呼びかけた</li> <li>・防災講座実施 42棟にヒアリングを行い、24棟600名を支援</li> <li>・基本づくりルール検討会等実施 11棟</li> <li>・北区防災フォーラム開催予定(2月23日)</li> <li>◆「大阪北区 ジシン本」の活用による防災意識の向上を図った</li> <li>・自助の意識を高めた</li> <li>・ミニ講座を北区役所区民交流プラザで毎日開催した(9月より)</li> <li>・基礎講座、応用講座を区役所及び地域に向いて57回開催した</li> </ul>	<p>同意された方を含めた地域の見守り体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域での防災訓練等を通じた災害時の要援護者支援体制づくりの推進を継続</li> <li>◆防災講座の継続実施</li> </ul>	B	
	③災害ボランティアセンターの機能強化	数値	<ul style="list-style-type: none"> <li>●災害ボランティアセンター運営への研修を実施</li> <li>●北区役所と北区社会福祉協議会連携のための合同防災訓練の実施</li> </ul>	<p>【北区社会福祉協議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆災害ボランティアセンターの機能強化に向けて取り組んだ</li> <li>・災害ボランティアセンター運営シュミレーション研修 4回実施(ボランティア・NPO・企業などとの協働)</li> <li>・防災フェスタの実施(10月20日)</li> <li>区社協・ボランティア・首根崎警察・企業などとの協働により実施(来場者数：350名)</li> <li>◆災害ボランティア講座を開催し災害支援ボランティアの事前登録を進めた</li> </ul>	<p>災害ボランティアの機能の充実に向けた運営協力者の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆区役所と北区社会福祉協議会の連携強化</li> </ul>	A	
			<p>【北区社会福祉協議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆災害ボランティアセンターの機能強化に向けて取り組んだ</li> <li>・災害ボランティアセンター運営シュミレーション研修 3回実施(ボランティア・NPO・企業などとの協働)</li> <li>◆災害ボランティア運営支援者養成講座を開催し、災害時協力者登録を進めた</li> <li>◆地域や、学校等と連携した防災訓練・防災講座を開催した(5回予定)</li> </ul> <p>【北区社会福祉協議会と区の連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆区役所と区社協の合同防災訓練を実施することにより、具体的な課題が見つかった(12月1日)</li> </ul>	<p>マンション住民をはじめ、転入者への働きかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆防災訓練での状況に応じた職員の対応力向上の強化</li> </ul>	A		

# 大阪市北区地域福祉計画 平成30年度取り組みの評価について

別紙1

※評価 A：できている B：おおむねできている C：あまりできていない D：できていない

取り組みの柱	重点	評価方法	達成目標	成果		課題		評価
				平成29年度（平成30年1月末現在）	平成29年度	平成29年度	29年度	
				平成30年度（平成31年1月末現在）	平成30年度	平成30年度	30年度	
4. “ふくし”の学びの充実	①学校・地域企業・各種団体での福祉への理解促進	数値・質	<ul style="list-style-type: none"> <li>●北区社会福祉協議会による学校・地域・企業・各種団体へ「当事者性を重視したふくし」の福祉教育の実施内容等の充実</li> <li>●区役所の各課職員に対する福祉教育・ボランティア学習の実施</li> </ul>	<p>【北区社会福祉協議会を中心に実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆福祉の理解促進に向けた福祉教育の実施と交流の場の創出                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・北区社会福祉協議会を中心に学校・地域との協働により小・中学校や大学、地域住民・専門学校などを対象に、福祉教育を実施した 全25回</li> <li>・北区社会福祉協議会で職場体験学習を実施 中学校 1回、専門学校 7回</li> <li>・障がい当事者の講話・交流など当事者の夢を推進した 5回</li> <li>・「子どもの貧困・子ども食堂・居場所」についての啓発講座を開催し、子ども食堂・居場所の開設につながった</li> <li>・認知症サポーター養成講座を小・中学校・企業などで開催 64回</li> <li>・北区社会福祉協議会と区役所（子育て支援室）と共催でシンポジウムを開催 仁藤夢乃氏講演会とシンポジウム（11月11日）</li> <li>「居場所のない子どもたち～私たちになにができるのか～」</li> </ul> </li> <li>【区】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>◆区役所全職員を対象に人権研修で認知症サポーター養成講座を実施 180名受講</li> </ul> </li> </ul>	◆福祉教育実施に向けた取り組みへの理解の促進	A		
				<p>【北区社会福祉協議会を中心に実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆福祉の理解促進に向けた福祉教育の実施と交流の場の創出                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・北区社会福祉協議会を中心に学校・地域との協働により小・中学校や大学、地域住民・専門学校などを対象に、福祉教育を実施した 全16回</li> <li>・北区社会福祉協議会で職場体験学習を実施 中学校 1回（2月1日予定）</li> <li>・障がい者理解のための体験学習を小・中学校で実施した 小学校1回（1月19日予定）中学校1回（2月8日予定）</li> <li>・「子どもの貧困・子ども食堂・居場所」についての啓発講座を開催し、子ども食堂・居場所の開設につながった</li> <li>・認知症サポーター養成講座を小・中学校・企業などで開催 50回</li> <li>・北区社会福祉協議会主催で北区地域福祉講演会を開催（9月11日）</li> </ul> </li> <li>【区】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>◆福祉教育を実施した                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・北区役所転入全職員を対象に認知症サポーター養成講座を実施 41名受講</li> <li>・認知症サポーター養成講座のアフターフォローとして、認知症アプリをチームサイトに掲載し、全職員が閲覧できるようにした</li> <li>・北区役所全職員を対象に人権研修でLGBT当事者の講演を実施 184名受講</li> <li>・北区役所メッセージング「あなたとともに」を広く区民に周知するため、手紙をつけた</li> <li>・自立支援協議会従事者研修会を実施し、障がい者とその家族への理解を深めた 44名受講</li> <li>・区内保育施設・幼稚園・子育て支援施設職員対象の児童虐待対策学習会を開催し、保護者への継続的な支援について理解を深めた 79名受講</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	◆福祉教育実施に向けた取り組みへの理解の促進の継続 ◆職員が受講した研修を他の職員が共有できるしくみの継続	A		
	②ボランティア活動の推進	数値	<ul style="list-style-type: none"> <li>●北区社会福祉協議会による継続的なボランティア体験の機会と活動の場の継続</li> <li>●ボランティア活動から、次のステップへ広がるような働きかけを検討する</li> </ul>	<p>【北区社会福祉協議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ボランティア体験の機会と活動の場の充実が図れた                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人ボランティア H30年1月末 80人</li> <li>・ボランティアグループ H30年1月末 52グループ（前年度比+5グループ）</li> <li>・フェスタ実行委員会、デイ連絡会と連携してボランティア体験を実施 18回</li> <li>・毎月区役所にて、ボランティアカフェの実施（前年度比+8回）</li> <li>・北ボラまつり開催180名（11月26日）</li> </ul> </li> <li>【区】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>◆区役所保育所一斉受付時に、女性会による保育ボランティアを実施 2週間で延べ 78名</li> </ul> </li> </ul>	◆継続的なボランティア体験の機会と活動の場の充実の継続	A		
③地域理解と地域への愛着心の醸成	質	<ul style="list-style-type: none"> <li>●転入者への働きかけを行う</li> </ul>	<p>【北区社会福祉協議会と区の連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆小地域福祉活動計画を通して地域理解を深め、福祉意識・地域への愛着心の醸成につながった                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・小地域福祉活動計画の策定におけるプロセスにおいて、地域住民アンケートを実施することで地域のニーズや課題等が可視化でき、地域への理解を深めることにつながった</li> <li>・小地域福祉活動計画策定後、地域の企業や事業所などの協力を得て地域活動の活性化が見られた</li> <li>・地域活動の発表や報告の場を持つことで、地域を見直す機会ができ愛着心の醸成につながった</li> </ul> </li> </ul>	◆新たな地域住民や策定委員会以外の地域住民の活動、実践の場への参画	B			
			<p>【北区社会福祉協議会と区の連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆小地域福祉活動計画を通して地域理解を深め、福祉意識・地域への愛着心の醸成につながった                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・小地域福祉活動計画策定後、地域の企業や事業所などの協力を得て地域活動の活性化が見られた</li> <li>・地域活動の発表や報告の場を持つことで、地域を見直す機会ができ愛着心の醸成につながった</li> </ul> </li> <li>◆マンションコミュニティ支援事業を通じて、共助のため、マンションのコミュニティ形成と地域のつながりの必要性を呼びかけた</li> <li>◆北区地域福祉計画検証にかかるアンケートとインタビューを実施した</li> <li>【区】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・転入者バックを配布し、地域への愛着心の醸成を図った</li> </ul> </li> </ul>	◆マンションコミュニティ支援事業の継続 ◆転入者自身が居住地がどの地域であるかが把握できる工夫の必要性	B			

大阪市北区地域福祉計画 平成30年度取り組みの評価について

別紙1

※評価 A：できている B：おおむねできている C：あまりできていない D：できていない

取り組みの柱	重点	評価方法	達成目標	成果		課題		自己評価
				平成29年度（平成30年1月末現在）		平成29年度		
				平成30年度（平成31年1月末現在）		平成30年度		
5. 企業や事業所との連携・協働の推進	①企業や事業所とのネットワークの構築	数値	<ul style="list-style-type: none"> <li>●認知症徘徊メールや防災教育を通じてさらなるネットワークの拡充により、連携先の企業・事業所を増やす</li> </ul>	【北区社会福祉協議会を中心に実施】 ◆企業等とネットワークを構築した ・徘徊メール 登録人数 50人、協力団体等 93団体(前年度比+2件) (内、福祉関係以外39団体) ・防災パートナー登録 78件(前年度比+30件) ・認知症啓発事業で、徘徊メール協力団体である企業から協力を得た ・「認知症高齢者等見守りネット事業勉強会及び連絡会」を3月に開催予定	◆新たな企業等との連携の促進 ◆企業との有機的な連携	B		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>●北区役所内、北区役所と北区社会福祉協議会でつながっている企業等の情報を共有し、企業との連携を強化する</li> </ul>	【北区社会福祉協議会を中心に実施】 ◆企業等とネットワークを構築した ・徘徊メール 登録人数 72人、協力団体等 165団体(前年度比+72件) (内、福祉関係以外80団体) <span style="float:right">資料10-1</span> ・防災パートナー登録 85件(前年度比+7件) ・「認知症高齢者等見守りネット事業勉強会及び連絡会」を2月に開催予定 【区】 ・マンション管理業協会と連携協定を締結し、防災、災害対応や福祉、子育て支援等についての連携協力の体制を整えるきっかけづくりを行った ・各課の企業連携情報を集約し、職員間で連携できるようにした	◆有機的な企業等との連携の促進	B		
	②企業と地域との連携の促進	数値	<ul style="list-style-type: none"> <li>●企業の新たな活動のつながりを推進する</li> </ul>	【北区社会福祉協議会を中心に実施】 ◆企業と地域の連携・協働の促進 ・小地域福祉活動計画策定後、企業の参画や協働が活性化した ・地域住民と企業との協働による事業の実施が推進された ・子どもの居場所事業と企業との連携（食事の提供） ・フードドライブの実施 (前年度比+19件) 【区】 ・団体・警察・区と連携により児童虐待防止啓発のキャンペーンを実施	◆地域活動への企業の参画の促進 ◆企業との有機的な連携 ◆フードドライブのしくみづくりの検討	A		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>●児童虐待防止の推進及び里親の啓発を団体、警察と連携して取り組む</li> </ul>	◆企業と地域の連携・協働の促進 <span style="float:right">資料10</span> 【北区社会福祉協議会を中心に実施】 ・小地域福祉活動計画策定後、企業の参画や協働が活性化した ・地域住民と企業との協働による事業の実施が推進された ・子どもの居場所事業と企業との連携（食事の提供） ・フードドライブの実施 (前年度比+10件) 【区】 ・里親パネル展（7月18日～7月25日） ・企業・団体・警察・区と連携により児童虐待防止と里親制度のシンポジウム「親子で抱っこ 地域で抱っこ」を実施（11月25日） ・パネル展とシンポジウムで里親相談会を行い、里親登録につながった ・区民カーニバルで里親啓発のブースを設置した	◆企業と地域との活動の連携	A		
	③ニーズに対応した福祉サービスの創出	質	<ul style="list-style-type: none"> <li>●北区社会福祉協議会と連携し、ニーズに対応した福祉サービスの仕組みづくりを推進する</li> </ul>	【北区社会福祉協議会と区の連携】 ◆地域ニーズに対応した新たな福祉サービスの創出への支援 ・子どもの居場所「あすなるハウス」【あすなるハウス運営協議会へ委託】 家庭でも学校でもない居場所の創出により、保護者の心の安定と不登校の子どもの学習等につながった ・「子ども食堂」（新規 豊崎地域外3か所、既存2か所） 平成30年3月末現在 家庭の事情による孤食等の解消の一つとして機能している	◆新たな福祉サービス創出に向けての取り組み	B		
				◆地域ニーズに対応した新たな福祉サービスの創出への支援 【北区社会福祉協議会と区の連携】 ・子どもの居場所を新たに1か所増やした 【家っしー（やっしー）運営協議会へ委託】 ・「子ども食堂」（新規6か所、既存5か所） 家庭の事情による孤食等の解消の一つとして機能している 【北区社会福祉協議会】 ・障がい児世帯の居場所づくりができた ・ひきこもりの居場所づくりに向けて、元当事者主催の講演会や学習会に参加した 【区】 ・親子の絆づくりプログラム（BPプログラム）をプレ開催予定 (2月の毎週水曜日) 第1子子育て中の母の、育児不安を軽減する場づくりを行った	◆新たな福祉サービス創出に向けての取り組みの継続 ◆よりそいサポート活用の周知	B		